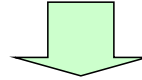


平成29年度 福井県立大野高等学校（定時制）スクールプラン

○福井県立大野高等学校教育方針

- 1 真理探究の精神を啓発し、併せて道理を尊重する気風を盛んにする。
- 2 自由には責任が伴うことを自覚させ、自主自律の精神を養成する。
- 3 和らぎの心を以って、我に執する事なく、常に他と強調する態度を学ばせる。
- 4 郷土の美風たる堅忍持久の精神を涵養し、以って勤労愛好の気風を助長する。



○定時制努力目標

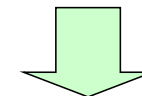
- 1 基礎学力の充実
- 2 規律ある生活の確立
- 3 職業観・勤労観の育成
- 4 健康と体力の増進

多忙化解消のための取組

- ・校内LANを活用し、情報を共有する。
- ・学校行事や各種会議を精選する。

人権教育の推進

- ・全職員が様々な人権問題に対して共通理解を持って研修に努め、人権尊重の精神の涵養を目的として教育活動を展開する。



○重点目標

1 教育課程・学習指導・研修 (教務部)

- ①基礎学力を向上させ、自ら考える力を育てる。
- ②各部との連絡調整を図り、円滑な学校運営に努める。

2 生徒指導 (生徒指導部)

- ①基本的な生活習慣の育成に努める。
- ②特別活動を活性化し、人格形成に努める。

3 就労・進路指導 (庶務進路指導部)

- ①就労を促し、職業観・勤労観の育成に努める。
- ②関係機関や地元企業との連携を図り、適正な進路指導に努める。

4 保健管理 (保健部)

- ①環境美化の意識と健康的な生活習慣の育成を図る
- ②きめ細かな支援体制の確立に努める。

5 情報管理 (コンピュータ委員会)

- ①生徒の成績等の個人情報適切に処理・管理する。
- ②教職員の記憶媒体の管理を徹底し、情報の漏洩防止に努める。



○具体的取組

a 生徒の状況をふまえ、個別支援を丁寧に行うなど基礎学力の定着を図る。生徒の自律的な活動を充実させた授業の実践・研究に努める。

【目標】

- ・生徒理解協議会（年3回）と公開授業週間（年2回）の実施
- ・授業や考査などの評価法の改善
- ・平成30年度に導入される通級指導の研究

b 教職員間および保護者との連携を強化し、教育効果を最大限発揮できる教育活動に努める。

【目標】

- ・教育効果を高める年間行事の調整や作成
- ・保護者懇談会を年4回実施
- ・未履修を抑制するために毎月の欠課時数を通知

○具体的取組

a 問題行動の未然防止・早期発見・早期対応に努め、人格形成を図る。また、保護者の理解と協力を求めながら基本的な生活習慣を身につけるよう努める。

【目標】

- ・生徒講話や登校指導などを行い、生徒に対する声かけの実施
- ・家庭訪問やいじめ対策会議（12回）など全教職員体制で実施

b 学校行事や生徒会行事を工夫し、生徒の自主性を重視して集団活動の活性化を図る。

【目標】

- ・文化祭・体育祭、新入生歓迎会・卒業生を送る会など縦割り集団の活動や異年齢の生徒との交流
- ・部活動の練習と参加機会の工夫

○具体的取組

a ハローワーク等関係機関との連携を図り生徒の就労を支援する。また、雇用主との連絡を密にして就労状況の把握に努める。

【目標】

- ・在校中の就労率向上と就労の定着のため、全生徒との面談を全教職員体制で実施

b 就職関連情報を提供するとともに、就労体験や進路対策テスト等を工夫し進路意識の高揚を図る。

【目標】

- ・職場見学、専門学校見学の実施
- ・インターンシップ、ソーシャルスキルトレーニングの効果的な実施
- ・能力に応じた進路選択ができる相談体制の構築
- ・卒業時に全生徒の進路決定

○具体的取組

a 継続的な指導を通じて、清掃活動・校内美化の意識向上を図る。また、「保健だより」や保健講演会等により健康に関する意識の高揚に努める。

【目標】

- ・全教職員による毎日の清掃指導の実施
- ・保健講演会年2回の実施

b スクールカウンセラーや外部機関と連携し、生徒個々に対応した教育相談体制の充実を図る。

【目標】

- ・スクールカウンセラーによる全校生徒に対する面談の実施
- ・ケース会議や適応指導委員会の適切な運営

○具体的取組

a 情報処理システムについてCAI機器の更新に伴う研修会を実施し、教職員の情報処理能力と情報管理意識の高揚に努める。

【目標】

- ・情報処理システム説明会の実施
- ・ICT機器の活用とホームページの充実

b クラウド化に対応した情報セキュリティやSNSの利用の仕方について理解を深める。

【目標】

- ・情報モラルやネットトラブルに関する意識を高めるために具体的な事案の情報提供を毎月（12回）実施